

土木建築
工事畫報

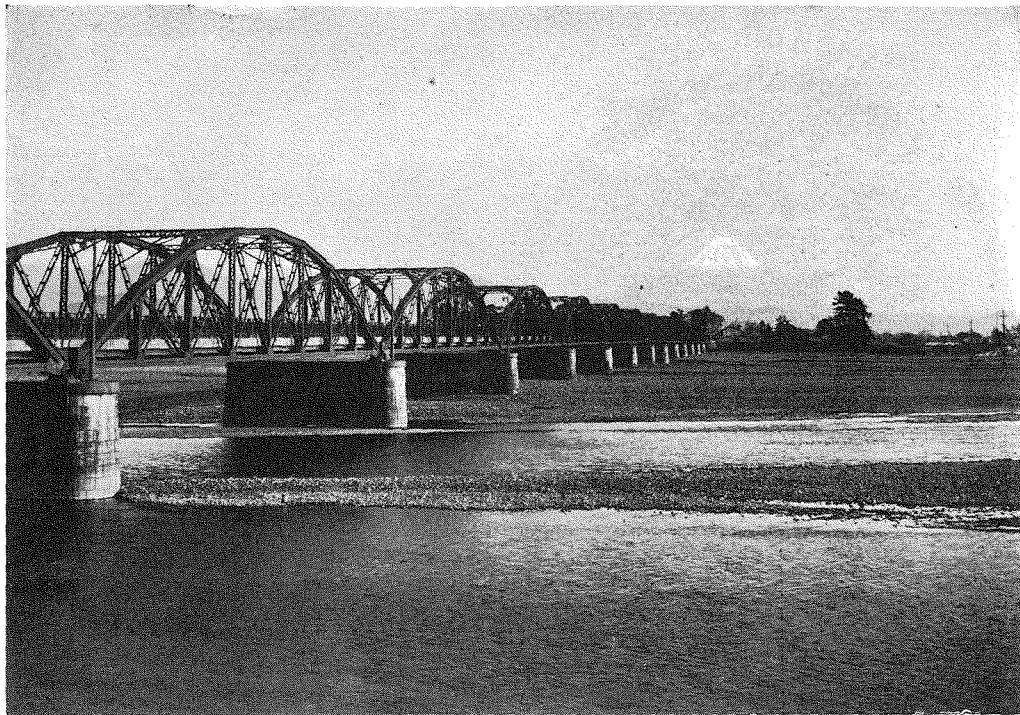
第14卷 第1號

(通卷第155號)

目 次

建設の日本號

大糸線眞那板山隧道直轄工事	瀧 淵 實 烈	3
常願寺川改修本宮堤堰工事	伊 藤 百 世	10
鐵道省廳舍新築第一期工事	井 上 隆 根	19
安治川河底隧道工事	堀 威 夫	31
横濱港頭を飾る新燈臺と外防波堤	春 木 節 郎	34
山陽水力蘆津發電所工事		36
梅田映畫劇場建築工事		44
手取川筋吊橋七橋の復舊工事	三 宅 發 造	50
富山縣に於ける四大橋工事(1)	大 島 六 七 男	58
世界の橋	堀 威 夫	62
丸の内だより		64



皇軍の武威將に支那の中原を壓して、極東の肅正漸く成らんとし、爰に重大時局の中に新春を迎ふ、實に緊張に満ちたる歡喜と光榮の新年である。

今や我々は舉國一致して國防第一線に盡すべき渦中に立つてゐるのである。斯かる際に國內の各種建設工事に多くを望む事は到底時局經濟の許さざる處であつて、此の状勢が何時まで續くかは何人にも豫斷を容さぬものがある。然しながら此の際の工事減少を以て直ちに悲觀材料と速断する事は大國民の襟度ではない。

日本は今や大陸に向つて正義明朗の文化建設の第一歩を踏出さんとしてゐるのである。伸んとする者は先づ屈するの類であつて、近き將來に於て我々日本人は世界の各地に向つて各種の建設工事を把握すべき機會の来るべき事を確信するものである。

工事は日本より来る！ 既にシヤムに見よ、メキシコに見よ、正義日本の明朗工事は將に大陸進出の準備だ。先輩は斯くして盡し後進は斯くして實力を研く。而して我等は諸君と協力して輝く日本の工事を護るべきを誓ふものである。

皇紀二千五百九十八年元旦

工事畫報社同人